

2 黒石養魚場

浅黄コイ飼育試験

I 目 的

昭和45年5月27日淡水区水産研究所上田支所より譲渡されたもので、現在当场において親魚候補用として飼育しており、成長も当场のものよりよく、今後は県内の湖沼等に放養品種の改良を実施しようとするものである。

II 試験内容

1. 試験期間

昭和46年4月27日から昭和47年5月16日まで、1年20日間

2. 試験場所

黒石養魚場

3. 担当者

場 長 清 藤 武

技 師 山 口 箴 治

技 師 補 鈴 木 史 紀

4. 試験項目

浅黄コイ飼育試験

5. 試験方法

① 供試魚 浅黄コイ75尾

② 魚体測定 年 2 回

③ 測定項目 全長、体長、体高、体重

III 試験結果

結果は第1表のとおりであるが、測定回数が少ないので、当场池に放養した当時の平均測定もふくめ成長課程を示した。

第 1 表 成 長 記 録 (1 尾平均)

測定年月日\	全 長	体 長	体 高	体 重
4 5. 5. 2 7	10 cm	8.5 cm	311 cm	20.4 g
4 6. 4. 2 7	25.82 cm	22.0 cm	8.41 cm	332.5 g
4 6. 1 0. 1 1	33.8 cm	28.6 cm	10.7 cm	744.0 g
4 7. 5. 6	35.06 cm	29.72 cm	11.6 cm	829.5 g

IV 試験の成果および今後の課題

1. 試験の成果

体長、体重を別紙図表に示したとおり、今まで当场において飼育していたものと比較して見ると倍位の差があり、とくに体高が目だってよい点が揚げられ放養から斃死もなく48年度においては全尾数が浅黄親魚として使用出来るものと思われる。

2. 今後の課題

放養密度が低い点で成長率がよいのではないかとと思われる。48年度においては、産卵用親魚とし

て使用しふ化からマゴイと比較試験を行い資料を蓄積する必要がある。

マ　ゴ　イ　種　苗　生　産

種卵生産高数	種卵配付数	稚魚生産高数	稚魚配付数	残　　数
4,280,000粒	2,720,000粒	401,500尾	400,600尾	900尾

イ　ロ　ゴ　イ　種　苗　生　産

種卵生産高数	種卵配付数	稚魚生産高数	稚魚配付数	残　　数
2,000,000粒	1,603,000粒	36,150尾	35,890尾	270尾

キ　ン　ギ　ヨ　種　苗　生　産

種卵生産高数	種卵配付数	稚魚生産高数	稚魚配付数	残　　数
45,500粒	375,000粒	16,900尾	15,800尾	1,100尾

ニ　ジ　マ　ス　種　苗　生　産

種卵生産高数	種卵配付数	稚魚生産高数	稚魚配付数	残　　数
40,000粒	な　　し	21,200尾	21,200尾	